趣 意 書

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素から当法人に対し格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

当法人では、高齢者の皆様が住み慣れた地域で安心して自立した生活を送れるよう、医療・リハビリテーションを通じて日々活動を続けております。

近年、高齢者の転倒骨折やその後の要介護状態を引き起こす「フレイル（加齢により心身が老い衰えた状態）」が急増しており、2035年に迫る介護危機や災害時のリスクが深刻な社会課題となっております。これらの課題を解決するためには、医療者からのサービス提供だけでなく、住民自らが主体となって健康を守る仕組みが今すぐ必要です。

そこで私たちは、2026年を「フレイル元年」と位置づけ、ICTを用いてフレイルの早期発見・予防を行う住民主体の「フレイル予防倶楽部」を新たに設立することといたしました。本活動を推進するためのICTタブレット端末や測定機器（握力計・骨密度測定器等）の購入費用、および全国展開に向けた啓発・研修費用等を募るため、この度クラウドファンディングに挑戦いたします。

骨折で泣く人をゼロにし、誰もが最後まで健康に自立して暮らせる「災害に強いまちづくり」の先進モデルを、ここ熊本から全国へ発信していく所存です。

つきましては、誠に恐縮ではございますが、是非とも当プロジェクトの趣旨にご理解、ご賛同いただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

なお、本プロジェクトへのご支援の有無が、現在の関係性に影響を与えるものではありません。あくまでも趣旨にご賛同いただけた場合のみで、もちろん結構でございます。

謹白

令和８年８月吉日

熊本託麻台リハビリテーション病院

理事長　平田 好文

ご支援金募集概要

１．募集概要

タイトル：「フレイル予防」高齢者が自分たちで健康を守るまちづくりにご支援を

募集金額：400万円

募集期間：2026年９月１日 （火）9:00～2026年１１月３０日（月） 23:00【９０日間】

プロジェクトURL：https://readyfor.jp/projects/takumadai-2026

※本プロジェクトはAll in方式となります。期日までに集まった支援総額に応じて、実行内容の規模を決定します。

※なお、本プロジェクトへのご支援の有無が、現在の関係性に影響を与えるものではありません。あくまでも趣旨にご賛同いただけた場合のみで、もちろん結構でございます。

２．資金使途

・IT機器購入費： タブレット端末 20台

・測定機器購入費： 握力計 14台、骨密度測定器 1台

・印刷・製本費： フレイル予防＆自立支援リーフレット、避難所評価マップの作成・印刷

・普及・研修費： 地域向け勉強会・成果報告会の開催費用、学会参加・演題発表費用

・その他：つこケン商標登録、つこケンシール作成、クラウドファンディング手数料 等

３．クラウドファンディングによるインターネットでのご支援が難しい場合のお問い合わせ先

医療法人堀尾会 熊本託麻台リハビリテーション病院

Mail：frail@horio-kai.or.jp